

アヌーガ・フードテック2009

2009年3月10日(火)～13日(金)

ドイツ連邦共和国 ケルンメッセ会場

- ファイナル・レポート -

食品・飲料技術分野をリードする国際食品技術見本市

食品技術業界アヌーガ・フードテックで明るい兆し

アヌーガ・フードテック国際食品技術専門見本市は、3月13日に4日間の会期を素晴らしい結果とともに終了しました。ほぼ全ての出展者が来場者数、紹介された技術に対する強い関心、それによる充実した商談に満足していました。今年のアヌーガ・フードテックは114ヵ国から約34,000人の専門来場者が訪れ、ほぼ前回並の来場者数となり、海外からの来場者は43%程でした。出展者数は39ヵ国から1,194社と前回(40ヵ国1,178社)を上回る参加となりました。「現在の全体的な経済状況を見ると、この結果は満足すべきものであり、経済全体にとっても前向きな兆しであると言えます。出展者、来場者双方の参加数が良かったということは、この展示会で紹介される様々な技術革新によるソリューションが現在対面している課題を満足させるものであるということを確認に表しているといえるでしょう。また、アヌーガ・フードテックは国際的な情報交換と購買の場として食品業界から信頼を得ているという証であるといえるでしょう。」とケルン見本市会社のゲラルド・ベーゼ社長は述べました。また、アヌーガ・フードテックは食品・飲料分野における加工、包装、食品衛生、倉庫、物流の全てをカバーする世界で唯一の専門展示会です。ドイツ農業協会(DLG)のラインハルド・グランケ会長は次のように述べています。「アヌーガ・フードテックは食品・飲料技術分野をリードするビジネス提供の場として見事に期待に答えています。オートメーション、包装、食品衛生、食品安全などは今年のアヌーガ・フードテックの中心的要素であり、食品安全や食品の質はサステナビリティと同様、関連技術の中でも将来において感心を集めるものとなるでしょう。この高い専門性を持ったアヌーガ・フードテックとそこで紹介される数々の革新技术は現在の厳しい経済状況の中でも明るい兆しを見せてくれるものです。」

アヌーガ・フードテック2009のデータ

総展示面積：115,000平方メートル

出展企業総数：39ヵ国から1,194社(外国企業比率:47%)

ドイツからの出展企業数：単独出展:621社、共同出展:10社

海外からの出展企業数：単独出展:539社、共同出展:24社

来場者数：114ヵ国から34,000人(外国からの比率:約43%)

アヌーガ・フードテック2009のトレンドなど詳しい情報は：<http://www.anugafoodtec.com>

次回のアヌーガ・フードテックは2012年3月27日(火)～30日(金)の会期で開催されます。

他の食品関連展示会

国際自動販売機メッセ「EUVEND」：2009年9月10日(木)～12日(土)

世界食品メッセ「アヌーガ」：2009年10月10日(土)～14日(水)

アヌーガ・フードテックに関するお問い合わせは：

ケルンメッセ株式会社

〒106-0045 東京都港区麻布十番2-20-6 ジャノメ麻布十番ビル7F

Tel:03-5418-6245 / Fax:03-5418-6246

e-mail: kmjpn@koelnmesse.jp URL: www.koelnmesse.jp